



## 市消防署が解体建物で訓練

市消防署員が9月13日、解体予定の旧浜岡保育園で建物を使用した災害救助訓練を実施しました。

同訓練では、コンクリート壁や屋根にドリルなどで穴を開けて建物に進入し、負傷者を救出するまでの手順を確認。救助副隊長の松下太祐さんは「本番さながらの訓練をすることで経験を積み、災害に備えたい」と話しました。

◀ドリルで建物の壁に穴を開ける消防署員



## 地元で海のスポーツを体験

御前崎港マリーナで9月14日、白羽小学校の4・5年生の児童約100人が市教育委員会と御前崎マリンスポーツクラブが主催する海洋体験学習に取り組みました。児童は、スタンドアップパドルボード(SUP)やカヌーといった海のスポーツを体験。秋野莉花さん(薄原区)は、「今年は海に行くことができていなかったの、この体験ができて良かった」と笑顔で話しました。

◀インストラクターの指導を受けながらSUPを体験する児童



▲交流 30 周年記念で植えた木の前でメッセージを送る生徒

## 王滝中学校との最後の交流

58年にわたり交流を重ねてきた御前崎中学校と長野県の王滝中学校が9月21日、59回目に当たる最後の交流会をオンラインで開きました。両校は昭和38年3月に姉妹校提携し、1年次に1回ずつ訪問し合ってきました。王滝中学校は夏に本市を訪れ、磯遊びやマリンスポーツを満喫。御前崎中学校は冬に王滝村でスキーを楽しんできました。2年生代表の曾根遥斗さん(白羽区)は「長年の記憶が失われることはない。この経験を今後に生かしたい」と語りました。



▲両校をオンラインでつないで開かれた最後の交流会



▲画面の向こうの王滝中生徒に向けて手を振る御前崎中の生徒